

自称詞の違いと印象形成

—対象の性別・年齢との関連—

長田 瑞恵

(十文字学園女子大学)

【はじめに】

- 自称詞：自我の発達を表すものの一つ（西川, 2003）
 - 2歳過ぎ～：主に自分の愛称(三人称)を名乗って他者との区別を明確にする（西川, 2003）
 - 3歳頃～：三人称で呼ぶのをやめ一人称代名詞を使用（Wallon, 1956/1983）
 - 中高生：男子は「オレ」「ぼく」など、女子は「あたし」「わたし」など複数の自称詞を相手に応じて使い分け（尾崎, 1995）
- 発話者が使用する自称詞の違いによって、相互作用の相手が発話者に対して形成する印象が異なるのか？

↓↓↓

- 本研究の目的：発話者が使用する自称詞の種類によって、聞き手が発話者に対して形成する印象にどのような違いが生ずるのかについて検討

【方法】

- 実験計画 発話者性別（2：男女）×発話者年齢（2：21歳, 4歳）×自称詞（3：ぼく/わたし, おれ/あたし, 名前）の3要因配置。いずれも被験者間要因
 - 被験者 女子大学生177名（平均年齢19.6歳, SD1.2歳）を12群に14～16名ずつ割り当て。
 - 手続き 質問紙法
- I. 「次の文章は、ある人物が自分のことについて話している自己紹介です。この文章をよく読んでから、次ページから始まる質問にお答えください。」という指示に続いて、次のような文章を掲載。

「①田中太郎（鈴木花子）、②男（女）、③21歳（4歳）です。④ぼく（おれ・太郎・あたし・わたし・花子）はY町に住んでいます。J大学に通っています。④ぼくは4人家族です。下に妹がいます。④ぼくの好きな食べ物はカレーライスです。テレビを見ること、本を読むことが好きです。③ぼくは、将来、先生になりたいです。」

※文章中の下線は条件に応じて操作。

- ①名前（2：田中太郎・鈴木花子）
- ②性別（2：男・女）
- ③年齢（2：21歳, 4歳）
- ④自分の呼称（男女各3：男：ぼく・おれ・太郎, 女：あたし・わたし・花子）

- II. その後、文章に描かれた発話者の印象について和田(1996)のBig Five（外向性, 神経症傾向, 開放性, 誠実性, 調和性）に関する項目（各12項目, 計60項目）を7件法で評定。

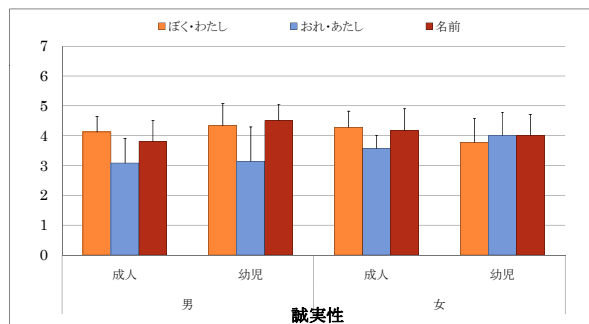
Table 1 発話者の印象評定に用いたBig Five性格特徴(和田, 1996)

外向性	開放性	神経症傾向	誠実性	調和性
地味な *	頭の回転の速い	個みがか *	無頓着な *	素直な *
無口な *	呑み込みの速い	くよくよしない *	勤勉な *	親切な *
意思表示しない *	想像力に富んだ	神経質な *	計画性のある *	温和な *
人嫌いな *	臨機応変な *	悲観的な *	軽率な *	協力的な *
社交的 *	美的感覚の鋭い	心配性 *	飽きっぽい *	短気 *
陽気な *	好奇心が強い	理気になる *	怠惰な *	反抗的 *
無妄想な *	独立した *	不安になりやすい *	几帳面な *	寛大な *
暗い *	多才の *	憂鬱な *	不精な *	とげがある *
積極的な *	興味の広い *	動揺しやすい *	いい加減な *	自己中心的 *
活動的な *	独創的な *	傷つきやすい *	ルーズな *	かんしゃくもち *
外向的 *	洞察力のある *	緊張しやすい *	無節操 *	怒りっぽい *
話し好き *	進歩的 *	気苦労の多い *	成り行きまかせ *	良心的な *

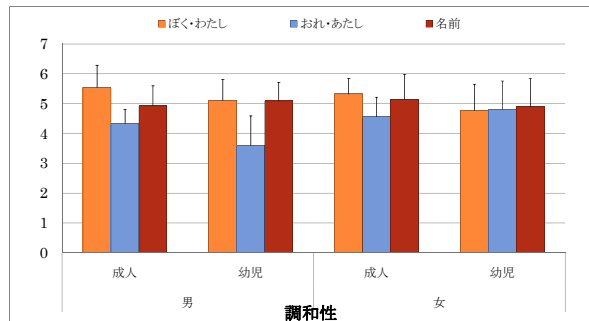
*印は逆転項目

【結果と考察】

- Big Fiveの尺度ごとに平均評定値を算出し、それぞれ3要因分散分析。
 - 外向性, 神経症傾向：主効果, 交互作用なし
 - 開放性：年齢の主効果（成人<幼児）
 - 誠実性：
 - 自称詞の主効果（おれ/あたし<ぼく/わたし・名前）
 - 性別×自称詞の交互作用
 - 性別×年齢×自称詞の交互作用
 - 発話者の性別ごとに年齢×自称詞の分散分析
 - 女性：年齢×自称詞の交互作用（成人：あたし<わたし, 幼児：有意差無）
 - 男性：年齢の主効果（成人<幼児）, 自称詞の主効果（おれ<ぼく・名前）



- 調和性：
 - 年齢の主効果（幼児<成人）
 - 自称詞の主効果（おれ/あたし<ぼく/わたし・名前）
 - 性別×自称詞の交互作用
 - 性別×年齢×自称詞の交互作用
 - 発話者の性別ごとに年齢×自称詞の分散分析
 - 女性：主効果, 交互作用なし
 - 男性：年齢の主効果（幼児<成人）, 自称詞の主効果（おれ<ぼく・名前）, 年齢×自称詞の交互作用有意傾向（成人：おれ<ぼく, 幼児：おれ<ぼく・名前）



↓↓↓

- 発話者が使用する自称詞の種類は、発話者の性別や年齢と関連しながら、発話者の印象に影響
 - 女性における誠実性（勤勉な, 計画性のあるetc）
 - 男性における調和性（素直な, 親切なetc）

⇒発話者が成人の場合、自称詞の違いが印象形成に与える影響が明確になる可能性